

放射線腫瘍学

1-1 構成員

平成29年3月31日現在

教授	1人
病院教授	0人
准教授	0人
病院准教授	0人
講師(うち病院籍)	0人 (0人)
病院講師	0人
助教(うち病院籍)	2人 (0人)
診療助教	0人
特任教員(特任教授、特任准教授、特任助教を含む)	0人
医員	0人
研修医	0人
特任研究員	0人
大学院学生(うち他講座から)	0人 (0人)
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員(教務職員を含む)	0人
その他(技術補佐員等)	0人
合 計	3人

1-2 教員の異動状況

中村和正 教授 平成27年5月1日～現職
小松哲也 助教 平成28年4月1日～現職
小西憲太 助教 平成25年6月1日～現職

2 講座等が行っている研究・開発等

1	(1) 研究・開発等のテーマ名	頭頸部癌における放射線治療成績の検討
	(2) 研究・開発等の背景、目的、内容の概略	局所進行上顎洞癌に対する動注化学療法併用放射線治療における治療成績を解析し、その成績向上をはかる。
	(3) 前年度までの状況	局所進行上顎洞癌に対する動注化学療法併用放射線治療における治療成績を後方視的に検討した。結果をまとめ、「臨床放射線」に採択された(3原著論文Aの1)。
	(4) 当該年度内の進捗	現在はさらに有害事象の少ない強度変調放射線治療での治療を行っている。
	(5) 翌年度の方針と予想	上記治療を継続し、将来、治療成績の比較を行う予定である。
2	(1) 研究・開発等のテーマ名	前立腺癌に対するIMRT/IGRT併用寡分割照射法の第II相臨床試験
	(2) 研究・開発等の背景、目的、内容の概略	前立腺癌に対するIMRT/IGRT併用寡分割照射法の安全性を検証する。
	(3) 前年度までの状況	全国20施設が参加し、現在132例の登録が終了し、経過観察中である。
	(4) 当該年度内の進捗	経過観察を行う。
	(5) 翌年度の方針と予想	平成31年12月に経過観察終了予定である。
3	(1) 研究・開発等のテーマ名	日本における前立腺癌に対するヨウ素125密封小線源永久挿入療法に関する前向きコホート研究(J-POPS)
	(2) 研究・開発等の背景、目的、内容の概略	日本では2003年から前立腺癌に対するヨウ素125の密封小線源永久挿入治療が開始された。その治療の質を担保するための全国的なプロスペクティブなコホート研究に参加している。
	(3) 前年度までの状況	治療の質のQuality indicatorと登録症例数との相関等を調査しており、論文準備中である。
	(4) 当該年度内の進捗	継続して行う。
	(5) 翌年度の方針と予想	症例登録数と治療成績との関係を解析予定である。

3 論文, 症例報告, 著書等

	平成28年度
(1) 原著論文数(うち和文のもの)	6編 (2編)
そのインパクトファクターの合計	10.179
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0編
そのインパクトファクターの合計	0.000
(3) 総説数(うち和文のもの)	3編 (3編)
そのインパクトファクターの合計	0.000
(4) 著書数(うち和文のもの)	2編 (2編)
(5) 症例報告数(うち和文のもの)	0編 (0編)
そのインパクトファクターの合計	0.000

(1) 原著論文

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

筆頭著者, 共著者: タイトル, 雑誌名, 巻, 初頁-終頁, 掲載年.		IF
1.	小西憲太, 神谷実佳, 小松哲也, 山下修平, 伊東洋平, 小杉崇, 鈴木一徳, 岡村純, 細川誠二, 峯田周幸, 阪原晴海, 中村和正. 上顎洞癌に対する動注化学療法併用放射線療法の治療成績. 臨床放射線, 61巻13号, 1787-1792, 2016	0.000

論文数(A)小計 1 うち和文 1 IF小計 0.000

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの(学内の共同研究)

論文数(B)小計 0 うち和文 0 IF小計 0.000

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

筆頭著者, 共著者: タイトル, 雑誌名, 巻, 初頁-終頁, 掲載年.		IF
1.	Yoshioka Y, Kotsuma T, Komiya A, Kariya S, Konishi K, Nonomura N, Ogawa K, Tanaka E, Nishimura K, Fujiuchi Y, Kitamura H, Yamagami T, Yamasaki I, Nishimura K, Teshima T, Nakamura K, Itami J. Nationwide multicenter retrospective study on high-dose-rate brachytherapy as monotherapy for prostate cancer. Int J Radiat Oncol Biol Phys 97(5), 952-961, 2017.	4.495
2.	Shiota M, Yokomizo A, Takeuchi A, Inokuchi J, Tatsugami K, Ohga S, Sasaki T, Nakamura K, Honda H, Eto M. Smoking effect on secondary bladder cancer after external beam radiotherapy for prostate cancer. Jpn J Clin Oncol. 2016, 46(10):952-957.	1.889
3.	Ishiyama H, Kamitani N, Kawamura H, Kato S, Aoki M, Kariya S, Matsumura T, Kaidu M, Yoshida K, Hashimoto Y, Noda Y, Lim KH, Kawase T, Takahashi T, Inaba K, Kumano M, Yoshikawa N, Yoshioka Y, Nakamura K, Hiratsuka J, Itami J, Hayakawa K. Nationwide multi-institutional retrospective analysis of high-dose-rate brachytherapy combined with external beam radiotherapy for localized prostate cancer: an Asian Prostate HDR-BT Consortium Brachytherapy 2017 Feb 17. pii: S1538-4721(17)30012-0	2.088
4.	Soufi M, Arimura H, Nakamura K, Lestari FP, Haryanto F, Hirose TA, Umedu Y, Shioyama Y, Toyofuku F. Feasibility of differential geometry-based features in detection of anatomical feature points on patient surfaces in range image-guided radiation therapy. Int J Comput Assist Radiol Surg. 2016 Nov;11(11):1993-2006.	1.707
5.	小宮 勲, 梅津 芳幸, 藤淵 俊王, 中村 和正, 馬場 眞吾, 本田 浩. 非自己遮蔽型サイクロトロン設置施設における法改正に基づく放射化物の除染の試み 日本放射線技術学会雑誌72: 989-998, 2016.	0.000

論文数(C)小計 5 うち和文 1 IF小計 10.179

(3) 総説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

筆頭著者, 共著者: タイトル, 雑誌名, 巻, 初頁-終頁, 掲載年.		IF
1.	中村和正, 小西憲太, 小松哲也, 塩山善之, 松本圭. IMRTと粒子線治療(陽子線, 炭素線)—それぞれの長所と短所は?— 癌と化学療法44(1) 37-40, 2017.	0.000
2.	中村和正, 小西憲太, 小松哲也. 前立腺がん放射線療法の最前線. 日本医師会雑誌 145(8): 1627-1630, 2016.	0.000
3.	中村和正, 小西憲太, 小杉崇. 外照射の現状と展望. 新前立腺癌学 —最新の基礎研究と診断・治療— 日本臨牀 74: 499-502, 2016.	0.000

総説数(A)小計 3 うち和文 3 IF小計 0.000

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの(学内の共同研究)

総説数(B)小計 0 うち和文 0 IF小計 0.000

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

総説数(C)小計 0 うち和文 0 IF小計 0.000

(4) 著書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

著者: タイトル, 出版社名, 巻, 初頁-終頁(頁数), 発行年.		IF
1.	中村和正(ワーキンググループ委員). 「泌尿器 II. 前立腺癌根治照射」放射線治療計画ガイドライン2016年版 第4版. 222-225, 日本放射線腫瘍学会編, 金原出版 2016.	
2.	中村和正(ワーキンググループ委員). 「泌尿器 III. 前立腺全摘除術後の放射線治療」放射線治療計画ガイドライン2016年版 第4版. 222-225, 日本放射線腫瘍学会編, 金原出版 2016.	

著書数(A)小計 2 うち和文 2

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの(学内の共同研究)

著書数(B)小計 0 うち和文 0

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

著書数(C)小計 0 うち和文 0

4-1 特許等の知的財産権の取得状況

	平成28年度
特許等取得数(出願中含む)	0件

4-2 薬剤、医療機器等の実用化、認証、承認、製品化、販売等の状況

	平成28年度
実用化、認証、承認、製品化、販売数	0件

5 医学研究費取得状況

	平成28年度	
	件数	金額 (万円未満四捨五入)
(1)科学研究費助成事業(文部科学省、日本学術振興会)	3件	120万円
(2)厚生労働科学研究費	1件	5万円
(3)日本医療研究開発機構(AMED)による研究助成	0件	0万円
(4)科学技術振興機構(JST)による研究助成	0件	0万円
(5)他政府機関による研究助成	0件	0万円
(6)財団助成金	1件	20万円
(7)受託研究または共同研究	3件	130万円
(8)奨学寄附金	2件	54万円

(1)科学研究費助成事業(文部科学省、日本学術振興会)

1. 挑戦的萌芽研究 超高速三次元計測小型カメラによる高精度放射線治療位置認識システムの開発. 平成26年度～平成28年度 代表(中村和正)	90万円
2. 基盤研究(B) 肺・肝以外の諸臓器における定位放射線治療の効果と安全性の評価 平成28年度～ 分担(山梨大学 大西洋)	15万円
3. 基盤研究(B) DNA修復機構を標的とする分子標的画像法の開発ー放射線治療効果予測を目指してー 分担(浜松医科大 間賀田泰寛)	15万円

(2)厚生労働科学研究費

1. がん対策推進総合研究事業 がん診療科データベースとJapanese National Cancer Database (JNCDB)の運用と他がん登録との連携 平成26年度～平成28年度 分担(大阪成人病セ 手島昭樹)	5万円
--	-----

(6)財団助成金

1. 日本放射線腫瘍学会2016・2017年度研究課題 パーチャルリアリティを利用した放射線治療仮想体験のための学生教育ツール開発 代表(小西憲太)	20万円
--	------

(7)受託研究または共同研究

1. 企業 3件	130万円
----------	-------

6 大型プロジェクトの代表、総括

7 学会活動

	(1)国際学会	(2)国内学会
1)基調講演・招待講演回数	0件	6件
2)シンポジウム発表数	2件	2件
3)学会座長回数	1件	6件
4)学会開催回数	0件	0件
5)学会役員等回数	0件	6件
6)一般演題発表数	0件	

(1)国際学会等開催・参加

2)国際学会・会議等でのシンポジウム発表

1. Nakamura K, Yoshitake T, Asai K, Sasaki T, Konishi K, Shioyama K. Development of machine vision system for precise radiotherapy using a CCD camera. The 4th Taiwan-Japan Radiation Oncology Symposium. Taipei, June 4, 2016.

2. K. Nakamura. Development of machine vision system for precise radiotherapy using a CCD camera. 第16回 慶北－浜松合同医学シンポジウム. H28.12.14 浜松

3) 国際学会・会議等での座長

1. Nakamura K. Session 6. Special technique and Physics. The 4th Taiwan-Japan Radiation Oncology Symposium. Taipei, June 4, 2016.

(2) 国内学会の開催・参加

1) 学会における特別講演・招待講演

1. 中村和正. 「前立腺癌の放射線治療 —最近の動向を含めて—」 第29回埼玉県放射線腫瘍研究会 2017.3.11 大宮
 2. 中村和正. 教育講演「放射線治療計画 - 医師の視点と判断 -」日本放射線腫瘍学会第29回学術大会. H28.11.25-27. 京都.
 3. 中村和正. 「放射線療法概論」2016年度 がん治療認定医 教育セミナー H28.11.12 幕張
 4. 中村和正. 「前立腺癌」(教育講演)第18回 放射線腫瘍学夏季セミナー-2016年8月6日 名古屋市
 5. 中村和正. 「肺癌に対する定位放射線治療」(特別講演)第21回長野県胸部疾患談話会. 2016年7月2日 松本市
 6. 中村和正. 教育講演37. 放射線治療6: Intensity-modulated radiotherapy for prostate cancer. 第75回日本医学放射線学会総会 横浜 H28.4.14-17 (4.17)

2) シンポジウム発表

1. 中村和正. 指定発言. シンポジウム4. 「各職種の専門性を活かしたチーム医療体制の構築」日本放射線腫瘍学会第29回学術大会. H28.11.25-27. 京都.
 2. 中村和正. シンポジウム「局所進行性膀胱癌に対する放射線治療の現状と今後への期待」日本泌尿器腫瘍学会 第2回学術集会 H28.10.22. 横浜

3) 座長をした学会名

1. 中村和正. 教育講演2 第13回前立腺癌密封小線源永久挿入治療研究会 H29.1.22 東京
 2. 中村和正. ディベート 日本放射線腫瘍学会第29回学術大会. H28.11.25-27. 京都
 3. 中村和正. ランチョンセミナー7. 日本放射線腫瘍学会台29回学術大会. H28.11.25-27. 京都.
 4. 中村和正. ミニシンポジウム48 第54回日本癌治療学会学術集会 H28.10.22. 横浜
 5. 中村和正. ランチョンセミナー 第54回日本癌治療学会学術集会 H28.10.22. 横浜
 6. 中村和正. 教育講演10. 第75回日本医学放射線学会総会 横浜 H28.4.14-17 (4.15)

5) 役職についている国内学会名とその役割

1. 中村和正. 日本放射線腫瘍学会 代議員
 2. 中村和正. 日本医学放射線学会 代議員
 3. 中村和正. 日本頭頸部癌学会 評議員
 4. 中村和正. 日本放射線腫瘍学研究機構、理事
 5. 中村和正. 日本放射線腫瘍学会高精度放射線外部照射部会 常任幹事、世話人
 6. 中村和正. 日本医学放射線学会中部地方会 世話人

8 学術雑誌の編集への貢献

	(1) 外国	(2) 国内
学術雑誌編集数(レフリー数は除く)	0 件	4 件

(2) 国内の英文雑誌等の編集

1. 中村和正. Journal of Radiation Research(日本放射線影響学会、本放射線腫瘍学会) Associate Editor, PubMed/Medline 登録有、IF 1.536
 2. 中村和正. International Journal of Clinical Oncology(日本癌治療学会) Editorial board, PubMed/Medline 登録有、IF 2.128
 3. 中村和正. Japanese Journal of Clinical Oncology Review board, PubMed/Medline 登録有、IF 2.016
 4. 中村和正. Breast Cancer(日本乳癌学会) Editorial board, PubMed/Medline 登録有、IF 1.585

(3) 国内外の英文雑誌のレフリー

1. 中村和正. 2回 Journal of Radiation Research (日本)
 2. 中村和正. 3回 International Journal of Clinical Oncology (日本)
 3. 中村和正. 3回 Japanese Journal of Clinical Oncology (日本)
 4. 中村和正. 1回 Japanese Journal of Radiology (日本)
 5. 中村和正. 1回 International Journal of Urology (日本)
 6. 中村和正. 1回 Digestive surgery (日本)
 7. 中村和正. 1回 Oncotarget (米国)

9 共同研究の実施状況

	平成28年度
(1)国際共同研究	0 件
(2)国内共同研究	3 件
(3)学内共同研究	0 件

(2)国内共同研究

1. 前立腺癌に対するIMRT/IGRT併用寡分割照射法の第II相臨床試験.平成27年～平成31年
2. 日本における前立腺癌に対するヨウ素125密封小線源永久挿入療法に関する前向きコホート研究 平成26年～
3. 肺・肝以外の諸臓器における定位放射線治療の効果と安全性の評価 平成28年～

10 産学共同研究

	平成28年度
産学共同研究	1 件

1. 企業 1件

11 受賞

12 新聞, 雑誌, インターネット等による報道

13 その他の業績

1. 中村和正.「がんの放射線治療」(市民公開講座)第38回浜松医科大学公開講座 役に立つ最新医療のお話.」2016年7月23日 浜松市
2. 中村和正.「からだにやさしい高精度放射線治療」浜松医科大学公開講座2016 浜松市 2016年5月28日